

GOKURAKUJI DAYORI  
極楽寺だより  
2025(令和7)年 4月号



発行所：極楽寺（浄土真宗本願寺派）☎ 759-3803 山口県長門市三隅下野波瀬 3633 ☎ 0837-43-0625

# 春の永代経法要の「案内」

慈しみの光あふれる春となりました。

生命の息吹を感じるとき、お浄土の人となられた方々が懐かし  
くしのばれます。阿弥陀さまのおすくいのご恩、お育てのご恩を  
味わい、仏祖のご恩を感謝して、春の永代経法要を次の通りお勤  
めします。お誘いあわせて、お参り下さい。

四月十五日（火）

昼一時半

夜七時半

四月十六日（水）

昼一時半

御講師

山口市正善寺住職

名護屋宗味 師

## 花まつり



四月八日は、お釈迦さまのご誕生を祝う花まつり。花御堂を飾り、お釈迦さまの誕生時のお姿に甘茶をかけてお祝いします。花御堂は、生誕の地「ルンビニーの花園」をあらわし、甘茶は「ご誕生の際に、甘露の雨が降った」という言い伝えによるものです。極楽寺では、春の法要の二日間、本堂に花御堂を飾ります。ご自由に甘茶をかけ、お参りください。



# 正面階段の門柱に墨を入れました

もんちゆう すぢ

極楽寺の本堂正面階段に、門柱がありま

す。実はこの門柱に、字が彫られていることをご存知でしょうか。せっかく彫られているのに、すっかり色が落ちてしまい、このままでは何が書かれているか見えません。前々から、何とかしたいと考えていたのですが、ネットで調べて「墓石ペイント」なるお墓の文字の補修塗料が売られていることを発見！早速購入し、墨を入れました。

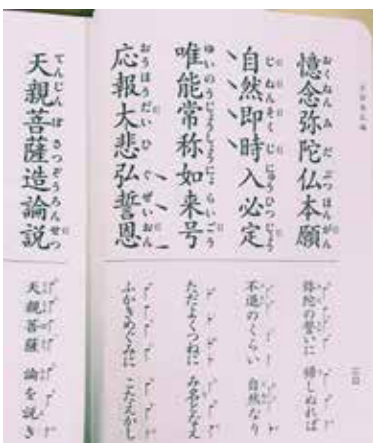
この門柱は、昭和二十三年十二月に建てられたものです。私の祖父である第二十一代住職大融の代のこと。施主は、野波瀬の宮崎治郎さん、宮崎憲治さん、宮崎茂之さんです。

また、正面向かって右側には

「唯能常称如来号」と、左側には「応報大悲弘誓恩」という言葉が彫られています。これは、親鸞聖人が書かれた『正信偈』にある御文です。赤い勤行聖典（本願寺出版社発行）の20ページに出てきます。ちなみに、勤行聖典の下の段には意識として「ただよくつねに み名となえ」「ふかきめぐみに こたえかし」とあります。

つまり、「唯能常称如来号 応報大悲弘誓恩」とは、「南無阿弥陀仏のお念仏を、常に称えましょう。そして、深い恵みとご恩にこたえていきましょう」という意味なのです。

もう少し丁寧に説明します。親鸞聖人は「お念仏は、私が称えるものではあるけれども、阿弥陀さまからの呼び声と受け止めなさい」



と教えてくださいました。私の口から出てくるお念仏は、阿弥陀さまの呼び声であり、願いとはたらきが込められている。まさに、声の仏さまとして阿弥陀さまが私の口から現れてくださっているのだと。

このイメージのビジュアル表現として思い起こされるのが、京都六波羅蜜寺の空也上人像（重要文化財）です。口から、六体の仏さまが現れている



いることで有名なこのお像。この六体は南無阿弥陀仏の六字を表している、称えた六字がそのまま阿弥陀さまに具現化されているのです。

このように、お念仏を称える時、阿弥陀さまの存在をリアルに感じた人がおられたのです。阿弥陀さまが、いつも私のそばにいてくださる。私の存在を丸ごと認めてくださる。一人であっても独りではない。生きているときも、死を迎えても、どんな時もみ手の真ん中に抱きとられている。その温もりを実感しながら、阿弥陀さまの心をいただき、応えようと人生を歩まれ、

た方々がおられた。その歴史が刻まれた場所が、お寺なのです。皆さんが門柱を見る度に、先輩方の歩みを思い起こされ、お念仏を称えていただくと、祖父大融も、施主の方々も喜ばれるのではないかと思います。

ただし門柱には、あまり近づきすぎないようにしてください。

素人仕事で、バレてしまうので（笑）



六波羅蜜寺 空也上人像



# 月々の言葉

Monthly Words



見えない根たちの  
ねがいがこもって  
あのような  
美しい花と  
なるのだ  
極楽寺揚子伝道

## 4月の言葉

浄土真宗では、仏法ぶつぽうを聞くとは「南無阿弥陀仏のおいわれを聞くということだ」と、教えられます。「おいわれ」って、わかりますか？「おいわれ」という言葉に「お」をつけて、「おいわれ」です。

「おいわれ」とは、由緒ゆいしょ、由来ゆらいのこと。今に至るいたまでのいきさつということ。また浄土真宗では、基本的に阿弥陀さまのはたらきに対して、うやまいの心をもつて「お」をつけますから、「南無阿弥陀仏のおいわれ」とは、なぜ阿弥陀さまが南無阿弥陀仏のお念仏を称えなさいと言われたのか、なぜ親鸞しんらん聖人しょうにんはお念仏を私たちにすすめられたのか。その、今に至るまでのいきさつ、由来を深く、聞きたずねていく。それが仏法を聞くこと

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

ということなのだと思えられるのです。

では、その「おいわれ」の中身なかみとは何か。それは、迷まよいを迷いと気づかず、迷いを深めているこの私を、阿弥陀さまは心配し、願い、はたらきかけてくださっている。そのお心とはたらきが、お念仏に込められて、今この私に届とどけられている。つまり、南無阿弥陀仏というお念仏は、誰のために用意されたのか。それは外ほかでもない、この私のためであったと気づいていく。それほどまでに私は、阿弥陀さまから大切に思われているんだと目覚めざめていく。つまり「南無阿弥陀仏のおいわれを聞く」ということは、言い換かえれば「私のいわれ」を聞くことなのではなからうか。私は、このように味あじわっているのです。

ところが近頃は、「南無阿弥陀仏のおいわれ」どころか、私の身の回りの様々な「おいわれ」や「根っこ」を、深く味わうことのない世の中になっ



今年、アメリカのプロ野球メジャーリーグに、佐々木朗希選手が挑戦することになりました。高校時代から騒がれた、才能溢れるピッチャーです。大谷翔平選手、山本由伸選手と同じロサンゼルスドジャースに入団が決まりましたので、今からワクワクしておられる方も多いのではないのでしょうか。

でも私は、この状況を純粹に喜べないのです。なぜなら昨年、佐々木選手が日本プロ野球選手会を退会していたことが報じられたからです。実は山本選手も、日本にいた時点で退会していたことが明らかになりました。それを聞いて、正直二人にガッカリしたのです。

選手会とは、一般企業における「労働組合」です。選手たちの労働環境を改善させるために、尽力してきました。現在の会澤翼会長（広島カープ）は、この件に関して「寂しいですよ」と嘆息し、「選手会は、今の現役選手だけでやってきたわけではない。／選手会ってこういうところなんだよ、というのを伝えきれなかった」と答えました。

確かに、現在の選手会は、国内でプレーを希望して、

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

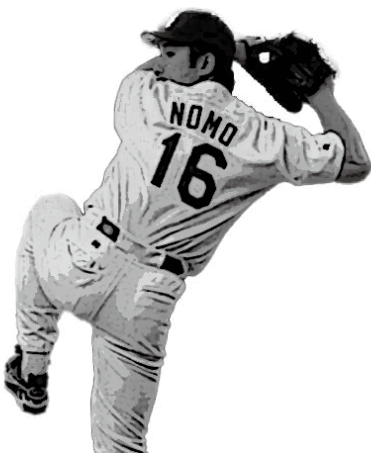
いる選手の労働環境改善に力を注いでいます。メジャー志向の選手にとつては、在籍することにメリットがあると思えないのかもしれませんが、しかし、選手会の「いわれ」をたずねてみれば、見方はまったく変わります。

日本のプロ野球選手がアメリカに挑戦できるように、制度を整えたのは選手会でした。約三十年前に野茂英雄投手が、球団と揉めに揉めてアメリカに渡った時とは、大きく変わりました。昔は、アメリカに挑戦していく選手を、応援する球団幹部なんていなかったのですから。「どうして、自分の球団の選手を手放さなくてはならないのか。損ではないか」という感覚が当たり前。そこに野茂選手が風穴を開け、その後選手会が経営者側と交渉し、FAやポスティングというメジャーリーグへ挑戦できるシステムを整えて、今があるのです。

選手会の森忠仁事務局

長は、「彼らが脱退するってことは、やはり選手

会に入っている意味がな



いと判断されたということだと思うので。會澤会長や先代の会長、選手たちには申し訳ないと思っています」と、選手会の歴史、いわれを伝えきれなかったことを悔やみました。それを受けて、會澤会長はこう語ったそうです。

「入会しているメリットも必要ですけど、／十年後、二十年後のプロ野球選手のために僕らはやっている。そういう発想を会員が持てるような選手会にしたいと思っています。だから、やっぱり今回のことは寂しいです」と。長年のプロ野球ファンである私も、とても寂しい思いになりました。

（参考『SportsGraphic NumberWeb』「選手会に入っている意味がないと判断された」佐々木朗希ら脱退…會澤翼会長が、本当に伝えたかったこと。氏原英明）

近頃は、スピード化（タイパ）、効率化（コスパ）の時代です。でも、スピードが速くなるほど、視界は狭くなります。効率化をすすめるほどに、邪魔なものが増えていきます。そうして、目先のことだけしか考えず、「アレはいらない、これもいらない」と、大切なもの

Monthly Words - Monthly Words - Monthly Words - Monthly Words - Monthly Words - Monthly Words - Monthly Words

も、自分を支えてくださるものも切り捨ててはいないでしょうか。PTAもそうですし、自治会も同じです。こういうお付き合いって、普段は面倒くさいだけかもしれませんが、しかし、困った時には大きな力となるのです。

事実、東日本大震災では、「社会関係資本（ソーシャルキャピタル）」が、復興回復に大きな力となったことが注目されました。ソーシャルキャピタルとは、自治会、消防団、婦人会、地域行事など、地域コミュニティにおける人のつながりです。それが避難所や仮設住宅の生活の際に、そして復興時に、重要な役割を果たしたのです。それを、「今の私にはメリットがないから」と、目先のことだけ考えて、影響力ある人が抜けていくと、どうなるのでしょうか。長年築き上げたものを壊すのは簡単です。一瞬で終わります。しかし、顔が見える関係、信頼、規範を一から立ち上げていくことが、どれだけ大変なことか。面倒くさいことかもしれないけれど、もしもの時のこと、10年後、20年後の人たちのことを考えると、このお付き合いを維持することがどれほど重要な

のか。そのことを深く考えることもなく、目先のメリットばかりを追いかける生き方は、あまりにも寂しいものではないですか。

そして「社会関係資本（ソーシャルキャピタル）」の一面として、口伝、伝承という過去から引き継いできたものの力も、注目されました（特に有名なのは、津波時には、まず自分を守るために、各自でんでばらばらに逃げよという「津波でんでんこ」です）。長い歴史を通して届けられたものの「いわれ」を、問いたずねていく。そんないとなみを、私たちは取り戻していかねばならないのではないですか。目先のメリットがあるかないかで、切り捨てるのではなく、それぞれのいわれをしっかりと味わっていかなくては、私たちは私を支えてくださる世界を、そして未来の人たちを支える世界までも、切り捨ててしまうことになるのです。

長年のプロ野球ファンとしては、メジャーのワールドシリーズを制覇したチームで、日本選手が主力として活躍することは、とても喜ばしいことです。しかし、こん

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

なことを聞かされると、素直に応援できなくなってしまう。ちなみに大谷翔平選手は、アメリカに行くまで選手会に入っていたそうで、素直に応援できると、ホッとしています。

プロスポーツ選手は、やはりファンあつてのもの。どんなに活躍できたとしても、マイナースポーツの選手がどれだけ不遇な環境にあるかを考えればわかります。何より先人たちの歴史があつてこそ、今の華やかな舞台もあるはずなのに。

花が美しく咲くのは、「見えない根たち」の願いがこもっているからです。そして、私の人生もまた、見えない根のはたらきによって、支えられているのでしよう。

「私のいわれ」を深く味わいたいものです。南無阿彌陀仏のお念仏には、そのいわれが込められているのだという伝承も、大切にいただきながら。 ■



# 河津桜ライトアップ 今年もきれいです！



毎年、きれいな花を咲かせてくれる駐車場の河津桜。  
今年は開花が例年よりもかなり遅く、待ち遠しく思っていたのですが、3月15日を過ぎて、ようやく満開となりました。

昨年より始めたライトアップも、とてもきれいです。開花が遅れた分、まだまだ見頃は続きます。ぜひ、お誘いあわせて、ご覧ください。



昨年の河津桜の動画は、こちらのQRコードから、見る事が出来ます。



## 物でお布施

家庭で眠っている物を、周りの人のために、活かしませんか。  
下記の物があれば、お寺までお持ちください。

書き損じはがき・未使用切手・商品券・未使用テレフォンカード・  
ビール券など金券・CD・DVD・ゲームソフト・ゲーム機器



プルトップも、  
引き続き集めています！

## 納骨堂新築計画進行中です

極楽寺の納骨堂新築計画が進んでいます。これからの維持管理を考えると、お墓よりも納骨堂の方が負担は確実に少ないと言えます。ご門徒以外の方でも大丈夫です。遠慮なく、お寺までご相談ください。

## 古い仏具 使わないお線香

お寺へお持ちください 本堂に回収箱を設置してあります。



## 5月の言葉

皆さんは、どのような言葉をかけられたら、やる気が湧いてきますか？

周りの人から、やる気を引き出すには、どんな言葉をかけますか？

「馬の鼻先に人参をぶら下げろ」という言葉があります。鼻先に人参をぶら下げられた馬は、人参に食いつこうとして全力で前に進もうとする。そこから、褒美や報酬をちらつかせて人を奮起させることの喩えにも用いられています。

このように、褒美や報酬で人のやる気を引き出す。これが、一般的に考えがちな方法ではないでしょうか。ところがこれは、あくまでも人参が欲しい馬に限つてのもの。なぜなら、お腹いっぱい馬もいれば、人参

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

では走る気が起こらない馬もいるからです。人間も同様に、誰もが褒美や報酬をちらつかせれば、動くとは限りません。

私は、地域のいろんな役職をしてきました。その経験から、「役職を引き受ける人が、言われて一番嫌がる言葉」を知りました。それは、「あの人は、好きでやっているから」「どうせ、手当を貰っているんでしょ」という言葉です。いつもは穏やかな方が、そんな言葉をかけられて烈火の如く怒られた場面を、何度も目の当たりにしてきました。

地域の役を引き受けられる方は、大抵「先輩もしてこられたから」「私もお世話になったから」と言われます。大切なことを受け継いでいるという、責任感が感じられます。それを「好きだから」「お金欲しさでしょ」と決めつけられると、「私を、そんな人間だと思っているのか!」と尊厳を踏みにじられた気がするのです。私も、その



気持ちよくわかります。

人は「報酬だけで動く」という単純なものではないのです。そして、報酬目当てだと決めつけられることで、やる気を失う人もいるのです。「人間は、人参をぶら下げれば動く」と短絡的に考えてしまう人は、「自分がそうだから、人もそう」という、自分のモノサシを振り回しているだけなのではないでしょうか。

「インテリジェンス」という言葉があります。日本語で「知性」と訳されるこの言葉の語源は、ラテン語で「の間」を表す「inter」と「読み取る」を意味する「lego」の組み合わせから来ているのだそうです。ならば「知性」とは、行間にあるもの、見えなくともそこにある思いやほたらきを読み取る力のことだと言っても良いでしょうか。

つまり同じ景色を見て、同じ人と出会っても、世界を深く読み取る力がある人と、浅くしか見ることができない人では、見え方は違うのです。そして知性とは、知識を増やすことでも、単にキャリアを重ねることで

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

もなく、行間にたゆたうものをすくい取り、読み解く力なのだと思えるのです。

何より、自分のモノサシで見えるものだけを追いかけると、そのモノサシ以上の広々とした世界に気づくことはできません。

そもそも仏教では、自分のモノサシ、それによって確立した枠組みにこだわることを「執着」と呼びます。その執着が強くなるほど、苦もまた強くなると考えます。

例えば、清潔な空間を作ろうと執着するほど、今まで何とも思わなかった少しの汚れが気になってくる。快適な環境を作ろうとするほどに、近



所の子どもの声がうるさく感じるようになる。タイプA（時短）にこだわることで、待つことが耐えられなくなり、若さや元気に執着することで、老いた自分、病気になる自分、自分を惨めと感じる。頑なになるほど反対意見

を否定し、都合の悪いことから目を逸らし、自分の人生を狭めてしまう。自分の枠組みやモノサシが強くなるほど、寛容さは失われ、考えは硬直化してしまいます。

その非寛容さは、他者へ向けられるだけではありません。自分にも向けられていきます。「こう、あらねばならない」という枠組みに執着すると、「そうは生きられない」という現実<sup>ちよくめん</sup>に直面したとき、「こんな自分はダメだ」と自分自身を強く苦しめていくのです。

自分の枠組みやモノサシを、問うてみませんか。「お金がすべて」という枠組みを問うてみると、そこにある思いやかけがえのなさが見えてくるかもしれません。「若さや健康が一番」というモノサシを問うてみれば、老いや病いから、大切なことに気づかされるかもしれません。これまでのモノサシを手放した時、世界は広がり、新たな出会いが開かれていくのです。

世界は、自分のモノサシで測るものではありません。自分のモノサシを問うことで、これまでの価値観<sup>かちかん</sup>が揺さぶられ、目の前の霧<sup>きり</sup>が晴れ、頭の中の風通し<sup>かぜとお</sup>が良く、

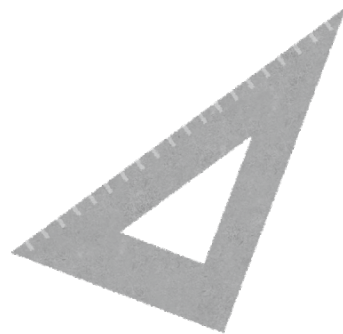
Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

## 極楽寺だよりを送りませんか

都会に出ておられる子どもさん、お孫さんたち、有縁の方々へ。お寺にお申し出ください。直接郵送いたします。ご遠慮なく！

近頃は、いろんな情報を気軽に手に入れることができる時代です。ところが、あふれた情報に振り回されてもいます。特に、不安をあおる宗教情報は危険です。また、仏事に関することについても、都会では気軽に相談するところがありません。お寺を身近に感じ、気軽に相談してもらうためにも、「極楽寺だより」が役に立つのでは…と思っています。

なっていく。まさに仏教とは、私のモノサシを問うてくださる教えなのです。無量<sup>むりょう</sup>（量ることができない）のはたらきに支えられている事実を、知らせてくださる導き<sup>みちび</sup>でもあるのです。■



# 葬儀の連絡は、<sup>けっこう</sup>真夜中でも結構です！

親しい方が亡くなられたら、皆さん<sup>どうよう</sup>動揺されます。「これからどうすれば良いのか」と、不安になる方も多くあります。近頃は葬儀社<sup>そうぎしゃ</sup>さんも働き方改革で、夜中<sup>はたら かついかく</sup>に対応する人と実際に葬儀<sup>たいおう</sup>を担当する人とを分けておられるようです。そのため引継ぎ<sup>ひきつ</sup>が上手くいかず、行き違いやすれ違いのケースも目にします。遺族の方に、しっかりと寄り添<sup>よそ</sup>うためにも、住職が間に入ります。どんな時間でも結構です。遠慮なく、ご連絡ください。



## 極楽寺ホームページ

極楽寺.comで検索 又は QR コードから



□先日、大阪まで「釈徹宗最終講義」を聞きに行きました。極楽寺にもご縁を  
いただいている釈徹宗<sup>しゃくてつしゅう</sup>先生が、相愛大学<sup>そうあいだいがく</sup>の学長<sup>たいにん</sup>を退任されることになり、その  
節目に行われた記念講演です。ゲストに、思想家で武道家<sup>うちだたつる</sup>の内田樹先生も来  
ておられました。内田先生は、私が二十年来、その本から影響を受けている

お方<sup>なま</sup>。「生でお話を聞くことができました！」と、感慨<sup>かんがいぶか</sup>深いものがありました。実は、相愛大学に通う長  
女<sup>まゆこ</sup>・真由子<sup>てはい</sup>が釈先生にお世話になっており、彼女の手配<sup>てはい</sup>で実現した、今回の大阪行き。何て、親孝行  
な娘なのでしょう！良い子に育てくれました。お小遣<sup>こづか</sup>いを弾<sup>はず</sup>みたいところですが、懐<sup>ふところ</sup>が寂しく、気  
持ちだけしか渡せておりません…。□また講義には、NHK『100分de名著』のプロデューサー、  
秋満吉彦<sup>あきみつよしひこ</sup>さんも聞きにこられていました。秋満さんは、釈先生と親しくされており、相愛大学で特別  
講義もしておられます（娘も参加したそうで、何と羨ましい）。私は『100分de名著』という番組が  
大好きで、欠かさず見ている大ファン。嬉しくて、声を掛けさせていただき、握手<sup>あくしゅ</sup>もしてもらいまし  
た。いやはや、ミーハー（死語か？）気分が抜けません。そういえば以前、映画『ゆきゆきて、神軍』  
の原一男<sup>はらかずお</sup>監督に握手してもらって、嬉しかったことを思い出しました。3月で60歳になったにも関  
わらず、あまり成長していないことに気づかされ、赤面<sup>せきめん</sup>している今日この頃です。（住職）

### 次回法座の予定

夏法座 6月11日(水) 12日(木)

講師 大來尚順 師（山口市徳地 超勝寺住職）

※日程が変更になりました。カレンダーの日程とは違いますので、ご注意ください。